



大分県立
玖珠美山高等学校

同窓会報

2025

Vol. 3

DECEMBER



新たな歴史に向かって
輝け、君の青春！

INDEX

- 2 | 会長挨拶
- 3 | 校長挨拶
- 4 | 支部活動報告
- 5 | 卒業生を訪ねて
- 8 | 令和6年度 進路実績
- 9 | 令和7年度 部活動等実績
- 10 | 令和6年度 事業報告／収支決算
令和7年度 事業計画／収支予算
- 11 | 令和7年度 役員等一覧
- 12 | 収穫感謝祭／同窓会報編集委員会

同窓会ホームページ

<https://kusumiyama-dousoukai.jp>





ご挨拶

会長

河野博文



師走に入り何かと慌ただしく感じる季節となりましたが、会員各位におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年は已年で焦らず粘り強く取り組み、自分のペースを保ちながら着実に前進することで最終的に望む結果に近づくことができる年ということですが、皆さんにはいかがでしたでしょうか？振り返ると今年は北部九州などで観測史上最も短い梅雨、猛暑日の延べ日数が過去最多となり、何かと大変でした。またトランプ大統領による関税問題や東日本各地ではクマ被害が発生し、紅葉狩りに行くことも出来なかつたのではないで

しょうか。山高校同窓会として支部総会が実施され、関東では楠友会東京支部と関東豊森会の役員さんのご尽力により合同の総会を開催していただきました。ご協力いただいた福岡県・関東の皆様には心より感謝申し上げます。その際、本部役員・事務局、塩月校長が参加をさせていただきました。ご参加の会員皆様から温かく歓迎していただき、学生時代や懐かしい故郷の思い出話で楽しい会となりました。そして玖珠郡に一つとなつた高校の玖珠美山高校を支援しようという皆様の思いを頂戴し、私達役員も改めてその思いに応え更に頑張ろうという気持ちを持ちました。

玖珠美山高校の生徒も少ない人数さて玖珠美山高校同窓会も、玖珠農業高校・森高校の両同窓会との統合により活動を始めて3年目に入っています。会員皆様からの賛助金やご支援をいただき、順調に学校支援をはじめ広報活動が出来ています。本年は福岡支部におきまして玖珠美

頑張っております。

また、在校生もそれぞれ人生目標に向かって勉学やスポーツ、農業研究に努力されています。最近では玖珠町・九重町でも若い人の発想や考えを町づくりに生かそうと高校生との意見交換や発表の機会を増やしており、母校の生徒も積極的に参加して活躍しています。

更に両町の各種イベントでは、ブラスバンド演奏や書道パフォーマンス、伝統ある山路踊りやボランティア活動等に参加し、賑わいを盛り上げています。産業分野では農業研究を重ね新しい農業の創造やマルシェでのジャムや花・パン等の製品販売は地域の皆様から好評をいただいています。今年は町の記念行事や自衛隊のコンサートで司会もされ玖珠郡において貴重な存在となっています。私達同窓会役員も自分たちが過ごした高校時代を振り返ると、楽しかったこと悲しかったことまた嫌なこと辛かつたこと等たくさんあります。

す。そういう学生時代があつて現在の自分達が存在し、友達との絆で結ばれているのではないかでしょうか。結びになりますが、今年もまた同窓生の皆様に賛助金の振込用紙を同封させていただいております。昨年同様に一口千円以上で何口でも構いません。大変厳しい経済状況下で申し訳ないと存じますが、生徒達の活動・支援等の趣旨にご賛同いただき宜しくお願ひ申し上げます。

また、本紙（第3号）から賛助金協力者の皆様をはじめ、今年度に50歳・55歳・60歳を迎える同窓生の皆様にも会報をお届けします。ご一読いただければ幸いです。

これからも母校として残る大分県立玖珠美山高等学校の更なる発展並びに同窓会継続に対してご支援、ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。

同窓会員皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げご挨拶と致します。

ありがとうございました。



玖珠美山高校同窓会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

玖珠美山高等学校校長の塩月光久です。本校の発展のために学校運営に努めているところです。今後も玖珠美山高校のため、生徒のために全力を尽くしたいと思っています。

昨年度、創立10周年記念事業を開催したところ、多くの同窓会員の皆さんにご出席、ご協力をいただき誠にありがとうございました。玖珠農業高校、森

高校の歴史

と伝統を引き継ぎ、次

の10年を見据え、更なる発展を目指していく

ためにも、教職員が一



ご挨拶

校長 塩月光久

丸となり地域に信頼され魅力ある学校づくりを目指してまいります。

さて、節目となる本年度も、全校生徒336名が学習活動や部活動、学校行事にも意欲的に取り組み、充実した高校生活を過ごしています。ここで、学校の現況を紹介したいと思います。

今春に卒業した10回生の進路実績につきましては、国公立大学に9名が合格、私立大学を含めた4年制大学に26名、短大・専門学校等に52名が進学、15名が民間企業に5名が公務員として就職しました。

部活動では、男女ホッケー部、なぎなた部がインターハイに出場しました。男子ホッケー部は全国で2勝し、ベスト8と輝かしい結果を届けてくれました。吹奏楽部は県大会において6年ぶりに金賞を受賞し、南九州大会に出場、農業クラブでは、県の意見発表大会で最優秀を受賞し、競技分野畜産では最優秀賞を受賞し、

全国大会に出場します。

さらに、吹奏楽部、書道部等は地域行事に参加し、地域の活性化に貢献するとともに、その存在感を確実なものにしています。

生徒の活躍については、学校ホー

ムページに随時掲載しておりますので、ぜひご覧くださいますようお願いいたします。

今後とも、一層のご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、玖珠美山高校同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げ、挨拶いたします。



|| 支部活動報告 ||

福岡支部総会

令和7年5月11日(日) 福岡市「福新楼」にて



楠友会東京支部（玖珠農高）・関東豊森会（森高）合同総会

令和7年10月4日(土) 東京都荒川区：アートホテル日暮里にて



卒業生を訪ねて

第19回（昭和42年）卒
玖珠農業高等学校 製造科

麻生 正則



会員の皆様、はじめまして。私は昭和42年、玖珠農業高等学校の製造科を卒業しました。

先ずは近況報告ですが、私の歴史は、高校卒業後神奈川県警察に入り42年間奉職した後、再就職で横須賀市立うわまち病院に5年間、神奈川県立横浜明朋高等学校に9年間それぞれ勤務し、現在はフリーです。

最近、私の1日の行動は、朝のウォーキングで1時間ほど歩き、そのあと趣味の中で一番好きなゴルフの練習を、自宅の裏に作っている打ちっぱなしの練習場（鳥籠）で80球ほど打っています。午後は、小話、手品、ピアノ、読書等の趣味に時間を費やしている状況です。

次は、高校時代の想い出がありますが、私はラグビー部で、仲間と3年間練習をしました。1年生ではフォワードの右プロップで、2年生以降はバックローのナンバー8を担当しました。練習では、スクランムを組み、押して、走って、泥だらけにな

りながら、毎日練習をしました。その練習のお陰で強い体を作ることができました。強い足腰は今も健在で、特にドライバースイングにその威力を發揮しています。

最後は、同窓会についてであります。

私は、楠友会東京支部の役員として、幹事、幹事長、副支部長、支部長及び顧問をさせて頂きました。

私が役員をしていた平成26年のとき、同窓会に何か貢献できるものはないかと考えました。私は、会員の皆様に楽しんでもらえるものがあればと思いを巡らせていたときに気づきました。そうだ『手品と小話』を抱き合せて、余興の出し物にして、皆さんに楽しんで頂くことにしました。そして、その年に構成などを考え準備して、翌年の平成27年から余興として『手品と小話』を披露させて頂きました。

お陰様で昨年は、横浜市栄区内の警察OB会、2月の新年会及び5月の総会に伴う懇親会、4月の関東玖珠中学校の同級会、7月の関東農森会の同窓会、10月の楠友会東京支部の同窓会、更に11月の関東くすこのえ会の懇親会にそれぞれ出演して、「手品と小話」を披露させて頂きました。私は、現在持病を抱えておりますが、体に支障がない限り「手品と小話」を続けていきたいと思っています。

第33回（昭和56年）卒
森高等学校

秋吉 博文



昭和56年に卒業してから、気がつけば40年以上が過ぎました。現在は博多で公認会計士・税理士として開業し、今年で33年目を迎えます。私どもの会計事務所は、多言語対応（英語・中国語・広東語など）を強みとしつつ、事業再生・事業承継・M&A・コンサルティングといった多機能サービスを開発しています。さらに弁護士や司法書士など他士業との連携を重視し、経営者の皆さまに「安心」を届けることを使命に日々取り組んでいます。

変化の大きい時代ですが、同級生と共に学んだ青春の日々を心の糧に、これからも地域に貢献していくたいと考えています。高校時代の思い出として強く残っています。町内クラブチームも参加する大きな大会でしたが、私たちは玖珠中出身の先輩・後輩で急ぎよチームを編成し、ほとんど練習らしい練習もせずに出場しました。それでも試合が始まると、不思議なものが息が合い、次々と勝ち進んでいました。決勝戦では苦しい場面もありましたが、気迫とチームワークで押し切った。それでも試合が始まると、不思議なものが出来ました。

高校卒業後、高原野菜の栽培を学ぶため長野県にある八ヶ岳中央農業実践大学校で2年間学びました。学校の標高が1,300mと高いところにあり、レタス・キャベツ・白菜などの高原野菜を学

同窓生の皆さんも、それぞれの場で活躍のことと存じます。立場や環境は異なっても、同じ校舎で学び、同じ時代を過ごした仲間が各地で頑張っていることは、大きな励みです。再会できる日を心から楽しみしております。どうぞ皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

第46回（平成6年3月）卒
玖珠農業高等学校 生物生産科

高口 栄一



私の家が、野菜農家なので地元玖珠町にある玖珠農業高校生物生産科2期生として入学しました。

高校時代の想い出ですが、生物生産科が創設されたことにより制服がブレザーになりました。部活動ではホッケー部、農業クラブ、派米研修など様々な活動を経験しました。派米研修では、2週間のホームステイと現地の高校生との交流会がありとても楽しく過ごすことができました。

高校卒業後、高原野菜の栽培を学ぶため長野県にある八ヶ岳中央農業実践大学校で2年間学びました。学校の標高が1,300mと高いところにあり、レタス・キャベツ・白菜などの高原野菜を学

がこはとてわざこといふんだと黙こもつた

入学して半年間は畜産部門で圃場部門を経験しました。そこで、次年度に向けた作付け計画、施肥計算を先輩に教わりながら自分の担当する野菜を決め、翌年から計画を元に栽培していくことを始めました。なかなか上手くいきませんが、同じ部門の仲間たちに支えてもらいました。



親・妻との4人で農作業をしています。主に青果市場のほか、Aコープくす店や地元の飲食店に出荷しています。野菜栽培では、甘み、日持ちの良い野菜を生産

するため有機肥料を取り入れ減農薬・減化学肥料に取り組んでいます。現在の農業現場では多くの課題もあります。大雨や干ばつ、高温などの天候被害に加え、鳥獣による被害も深刻です。また、流通コストや生産資材価格の上昇も、収益を圧迫する要因になっています。

今後の目標として、コスト削減・販路拡大を視野に入れながら、1人でも多くの人に真心を込めて育てた新鮮で安心・安全な美味しい野菜を、できるだけ安価でたくさんの方に届けるため、これからどうぞよろしくお願いします。

今後の目標として、コスト削減・販路拡大を視野に入れながら、1人でも多くの人に真心を込めて育てた新鮮で安心・安全な美味しい野菜を、できるだけ安価でたくさんの方に届けるため、これから日々挑戦していきたいと思います。

森高等学校
第47回（平成7年3月）卒

大分県立森高等学校を卒業してから、早くも30年が経過しました。高校卒業後は大分大学教育学部に進学し、東京都内で半導体の設計エンジニアとして勤務しました。眠らない都市・東京で終電まで図面と格闘する激務の日々は決して楽ではありませんでしたが、この経験が現在の仕事の取り組みや判断力に確かに土台を与えています。現在は、故郷・九重町に戻り、九重町教育委員会で社会教育課に所属し、人材育成や地域づくりに取

り組む日々を送っています。都会での経験を胸に、田舎でのゆったりした生活を楽しみつつも、その学びを仕事に生かせていることに感謝しています。

森高時代を振り返ると、友人たちとの些細な日常が今も鮮やかに思い出されます。豊後森駅前で語り合ったり、「秀屋」で大盛りのヤングミックスを頬張ったり、名前も思い出せないカラオケボックスで声をからして歌つたりしたことは、30年経った今も心を温めます。当時は牛徒数が多く、6クラス編成の学年だったため、学年全体の活気や一体感は今なお記憶に残ります。不定期ではありますが、当時の担任であった廣田雄二先生を交えて同級生と集まると、教室での記憶が一気によみがえります。

玖珠美山高等学校 普通科
第1回（平成28年）卒



「命を張れ!」當時の僕たちはそれくらいの覚悟で花園を目指していました。

合に敗れ、この仲間たちともう一生ラグビーができるのかと涙を流したことを今でも覚えています。あれから10年。この同窓会報を機に当時を懐古してみようと思います。

と後輩たちの未来を応援したいという思いが一層深まりました。

30年という歳月を経ても、青春の日々が私を突き動かしていることに気づきます。母校への感謝と同窓生へのエールを胸に、これからも歩みを重ねていきたい

救助をする仕事です。まだ一度もありま

せんが、この腕でもしも、人を救うこと

が出来たのなら、僕の生まれてきた意味

も少しあるのかなと思い、日々災害に

立ち向かっています。また、ラグビー

も現役で続けており、関東社会人1部に

所属しています。上位入替戦で勝利すべ

く、大企業を相手に真剣勝負をしていま

す。

高校時代の思い出は、ラグビーと大学受験です。ラグビー部では花園を目指し、横円を追いかけた日々を思い出します。高校2年時には県内ベスト4まで進みました。泣き、笑い、仲間と勝利の喜びを分かち合ったことがきっかけで、場所や仲間は変われど、いまだ



高校時代の思い出は、ラグビーと大学受験です。ラグビー部では花園を目指し、横円を追いかけた日々を思い出します。高校2年時には県内ベスト4まで進みました。泣き、笑い、仲間と勝利の喜びを分かち合ったことがきっかけで、場所や仲間は変われど、いまだにラグビーを続けているのかもしれません。また、大学受験では中学時代の恩師のようになりたいと思い東京学芸大学を志望しました。苦しい道のりでしたが、恩師、仲間、先生方、両親がいてくれたお陰で、私は合格することができました。その後、消防士という道に進むことになりますが。笑

私はいま、地元を離れ東京で暮らしていますが、玖珠で過ごした日々は変わらず心の中に在り続けてくれます。同窓生の皆様におかれまして、いつまでも健康で笑顔に満ち、熱く情熱を燃やせる日々を送られることを願っています。またどこかでお会いしましょう。

同級生の多くは、社会人としての一歩を踏み出したばかりだと思います。



玖珠美山高等学校 地域産業科 第6回（令和3年）卒

宿利 理人

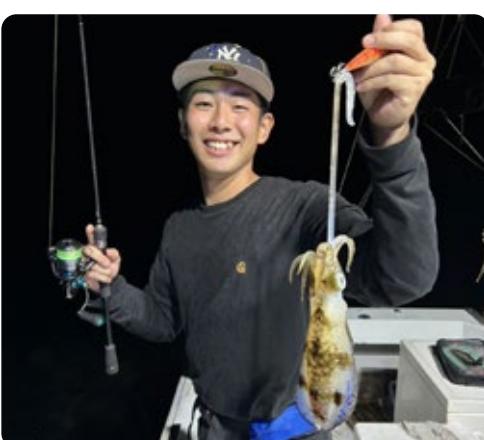


私は、地域産業科第6期生の宿利理人です。この春東京農業大学を卒業して、現在は

母校である玖珠美山高校に農業の臨時講師として戻ってきました。まさか自分が

先生としてこの教壇に立つことになるとは、高校生の頃には想像もしていませんでした。昔お世話になった先生方が、今は職場の先輩となり、ご指導をいただく日々です。慣れないことばかりで緊張もありますが、温かく見守ってくださる先生方のおかげで、毎日楽しく、充実した日々を過ごしています。

私は地域産業科で、主に農業の生産について学びました。実習で汗を流しながら作物・野菜を育てる楽しさや、苦労して収穫したときの喜びは今でも鮮明に覚えています。特に、授業の一環で行うプロジェクト学習や、農業クラブの活動には熱中しました。仲間と協力して一つの目標に向かっていく中で、多くのことを学び、かけがえのない経験を積むことができたと思っています。これらの経験が、今の自分の土台になっていると強く感じます。



私は、新しい環境に慣れるまで、戸惑うことも、大変なこともあるかもしれません。私も、高校生の頃とは違う立場となり、新鮮な気持ちで日々を過ごしています。お互い、慣れないことばかりで大変なこともありますですが、高校時代に培った力を信じて、一緒に頑張っていきましょう。いつか皆さんと再会し、それぞれの場所で頑張っている話を聞けるのを楽しみにしています。

母校に帰ってきて改めて感じたのは、玖珠の自然の豊かさ、そして温かい人々の存在です。高校時代、当たり前だと思っていたこの環境が、どれだけ恵まれていたかを改めて実感しています。近いうちに、皆さんと一緒に母校を訪れ、懐かしい思い出話を花を咲かせたいですね。これからも、それぞれの場所で輝き続けましょう！

令和6年度 || 進路実績 ||

令和6年度卒業生合格一覧 (過年度生を含む、延べ人数)

■ 国公立大学 ■

九州工業大学	1
愛媛大学	2
熊本大学	2
佐賀大学	1
大分大学	2
宮崎公立大学	1

合計 9

■ 国公立短期大学 ■

大分県立芸術文化短期大学	3
--------------	---

合計 3

福岡医療秘書福祉専門学校	2
--------------	---

田北調理師専門学校	1
-----------	---

大分医療技術専門学校	1
------------	---

専門学校西日本昴自動車工科大学校	1
------------------	---

専門学校久留米自動車工科大学校	1
-----------------	---

ホンダテクニカルカレッジ関西	1
----------------	---

専門学校トヨタ名古屋自動車大学校	1
------------------	---

合計 29

■ 私立大学 ■

山梨学院大学	2
東海学院大学	1
慶應義塾大学	1
國學院大學	1
早稲田大学	1
宝塚大学	1
東京造形大学	1
福岡大学	8
福岡工業大学	2
中村学園大学	1
筑紫女学院大学	1
明治大学	1
九州産業大学	2
日本経済大学	1
九州看護福祉大学	2
久留米大学	3
日本文理大学	3
別府大学	7
天理大学	1
日本体育大学	1
山口学芸大学	1
東洋大学	2
日本大学	1
立教大学	1

合計 46

■ 私立短期大学 ■

福岡女子短期大学	1
別府大学・短期大学部	4
中村学園大学短期大学部	1
東九州短期大学	1
福岡こども短期大学	2

合計 9

■ 医療系専門学校 ■

別府青山看護学校	1
大分リハビリテーション専門学校	1
藤華医療技術専門学校	1
柳川リハビリテーション学院専門学校	2
あさくら看護学校	1
大川看護福祉専門学校	1

合計 7

■ 民間就職(県内) ■

日本郵便(株)九州支社	1
老人保健施設 はね	1
九州アフリカ・ライオン・サファリ株式会社	1
日田検診センター	1
おおやま夢工房	2
新日本ホテルズ	1
日昇機工	1
いわた創建	1

合計 9

■ 民間就職(県外) ■

高梨乳業(株)	1
ノーザンファーム	1
富士特殊紙業株式会社	1
日鉄物流株式会社	1
九州旅客鉄道	1
株式会社AHB	1

合計 6

■ 公務員 ■

九重町役場	1
小国町役場	1
自衛官(一般曹候補生)	4
自衛官(自衛官候補生)	4

合計 10

■ 大学校 ■

大分県立農業大学校	2
大分県立工科短期大学校	2
九州職業能力開発大学校	1
合計	5
西日本アカデミー専門学校	1

令和7年度

部活動等実績

農業クラブ

◎県大会

■プロジェクト発表Ⅲ類

優秀	高田弦治(2年)	園久雅(2年)	原真尋(2年)
	拂川大翔(2年)	市川史弥(2年)	相良悠斗(2年)
	櫻木恭一(2年)	田中治翔(2年)	寺村朱鷺(2年)

■意見発表1類

最優秀(九州大会出場)	笠颯太(3年)
-------------	---------

■農業鑑定競技分野畜産

最優秀	藤井柊平(3年)
-----	----------

■家畜審査競技肉用牛の部

最優秀	増田優衣(2年)
優秀	藤井柊平(3年)

◎全国大会

■農業鑑定競技分野畜産

優秀	藤井柊平(3年)
----	----------

部活動

◎第73回大分県高等学校総合体育大会結果一覧

■ラグビー部

1回戦	美山 41 - 0 合同(臼杵・昭和・海洋・日田・別飼)	勝利
2回戦	美山 58 - 26 大分上野丘	勝利
準決勝	美山 0 - 83 大分舞鶴	敗退

第3位

■サッカー部

1回戦	美山 1 - 2 楊志館	敗退
-----	--------------	----

■陸上部

個人	永樂千明(2年) 100m	予選敗退
	繁田大翔(2年) 1500m	予選敗退

■卓球部

学校対抗	女子1回戦 美山 3 - 1 大分鶴崎	勝利
※規定人数不足のため2回戦を棄権		

■バレーボール部

1回戦	美山 2 - 0 杣築	勝利
2回戦	美山 0 - 2 白杵	敗退

■バスケットボール部

1回戦	美山 53 - 78 大分鶴崎	敗退
-----	-----------------	----

■テニス部

学校対抗	男子1回戦 美山 2 - 1 大分東明	勝利
	美山 0 - 3 杣築	棄権

■なぎなた部

学校対抗	美山 0 - 2 大分西	敗退
	美山 2 - 1 福徳学院	勝利

演技競技

予選リーグ	佐藤由依(3年)・小雲彩瑛(3年)	5 - 0 勝利
		4 - 1 勝利

決勝トーナメント

準決勝	佐藤由依(3年)・小雲彩瑛(3年)	4 - 1 勝利
決勝		

		1 - 4 敗退
--	--	----------

第2位(全国総体・九州総体出場)

試合競技 個人戦

予選リーグ	佐藤由依(3年)	1勝1敗 予選敗退
	小畠ちか(3年)	2勝 予選通過
	小雲彩瑛(3年)	2勝 予選通過

決勝トーナメント 1回戦

	小畠ちか(3年)	2勝 予選通過
	小雲彩瑛(3年)	2勝 予選通過

◎全九州高等学校体育大会結果一覧

■なぎなた部

演技競技	佐藤由依(3年)・小雲彩瑛(3年)	勝利
1回戦	美山 5 - 0 熊本第一(熊本)	勝利
2回戦	美山 5 - 0 佐賀東(佐賀)	勝利
準々決勝	美山 4 - 1 知念(沖縄)	勝利
準決勝	美山 4 - 1 大分西	勝利
決勝	美山 3 - 2 筑紫女学園(福岡)	勝利

■ホッケー部

男子 予選リーグ	美山 11 - 0 延岡工業・門川・高鍋 合同(宮崎)	勝利
	美山 7 - 0 玄界(福岡)	2勝 予選リーグ1位

準決勝	美山 1 - 1 川棚(長崎)	SO戦 1 - 2
3位決定戦へ		
3位決定戦	美山 7 - 2 玄界(福岡)	第3位(全国総体出場)
女子 予選リーグ	美山 5 - 0 武岡台(鹿児島)	
	美山 8 - 0 玄界(福岡)	
	美山 1 - 1 八代清流(熊本)	2勝1分 予選リーグ1位
		決勝戦へ
決勝	美山 2 - 1 川棚(長崎)	優勝(全国総体出場)

◎全国高等学校総合体育大会(インターハイ)結果一覧

■なぎなた部	佐藤由依(3年)・小雲彩瑛(3年)	
	美山 5 - 0 浜松市立(静岡)	勝利
	美山 5 - 0 鳴門(徳島)	勝利
リーグ1位 予選通過		
決勝トーナメント	美山 2 - 3 神奈川大付(神奈川)	敗退

■ホッケー部	男子 1回戦 美山 3 - 0 伊予(愛媛)	勝利
	2回戦 美山 2 - 0 玄界(福岡)	勝利
	準々決勝 美山 0 - 8 沼宮内(岩手)	敗退
第5位タイ(ベスト8)		
女子 1回戦	美山 0 - 2 今市(栃木)	敗退

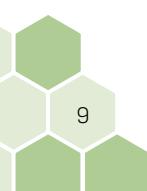
◎その他の試合結果一覧(運動部)

■野球部	第147回大分県高等学校野球選手権大会県北・久大支部予選	
	1回戦 美山・安心院 0 - 4 中津南	敗退
第107回全国高等学校野球選手権大会 大分大会		
1回戦 美山・安心院 4 - 8 中津北		敗退
第148回大分県高等学校野球選手権大会 支部予選		
1回戦 美・東・竹 0 - 7 柳ヶ浦	敗退	(美山・大分東・竹田 合同チーム)
第157回九州地区高等学校野球大会 大分県予選		
2回戦 美・東・竹 2 - 7 柳ヶ浦	敗退	(美山・大分東・竹田 合同チーム)
■ラグビー部	令和7年度全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会大分県予選	
2回戦 美山 35 - 17 大分雄城台		勝利
準決勝 美山 7 - 32 大分東明		敗退
		第3位
■バレーボール部	2025年度全九州バレーボール総合選手権大会大分県予選会	
1回戦 美山 0 - 2 佐伯鶴城		敗退
第15回大分県高等学校フレッシュバレーボール優勝大会		
予選リーグ 美山 0 - 2 大分西		敗戦
		美山 0 - 2 楊志館

◎文化部の大会・コンテスト結果一覧

■美術部	第50回高文連美術専門部スケッチ大会	
	合原 怜奈(3年)	
衛藤穂乃翔(2年)		
第43回高山辰雄賞ジュニア美術展		
佐藤 寧音(1年)		
梅木 榮真(1年)		
■書道部	第61回高文連書道専門部 席上揮毫大会	
	臨書の部 江藤 小春(3年)・竹内 玲那(3年)	
	小林 珠綺(2年)・河野 このみ(2年)	
	創作の部 江藤 小春(3年)・竹内 玲那(3年)	
	秋好 美潤(3年)・小林 珠綺(2年)	
	有吉 優衣(2年)・江藤 紗(1年)	

四国大学主催 第54回全国高校書道展		
松原 悠月(1年)		特選
■吹奏楽部		
第62回大分県吹奏楽コンクール 小編成の部		金賞
		(南九州大会出場)
第21回南九州小編成吹奏楽コンテスト 宮崎大会		銀賞



令和6年度 事業報告

令和6年

4月 9日	玖珠美山高等学校第10回入学式
4月 18日	第1回創立10周年実行委員会 第1回臨時役員会
5月 12日	令和6年度福岡支部総会
6月 14日	第1回同窓会ホームページ打ち合わせ会議
6月 21日	第2回創立10周年実行委員会 第1回役員会
6月 27日	全国大会(北部九州インターハイ・全国高等学校総合文化祭)に係る激励金交付(男女ホッケー部・なぎなた部・美術部)

7月 19日	第1回理事会
8月 31日	定期総会
9月 5日	第3回創立10周年実行委員会
10月 11日	玖珠美山高校創立10周年記念式典
12月	同窓会報第2号発行

令和7年

2月 28日 令和6年度同窓会入会式

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減額	備考
会 費	530,000	530,000	0	会費5,000*106名
贊 助 金	1,500,000	1,010,706	△ 489,294	賛助金1,073,000円 払込料金・その他料金△62,294円
繰 越 金	5,447,987	5,447,987	0	前年度より
雑 収 入	52,013	151,780	99,767	預金利息、吹奏楽部返金
計	7,530,000	7,140,473	△ 389,527	

令和6年度

収支決算

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	増減額	備考
会 議 費	500,000	464,046	△ 35,954	総会、理事会等経費
印刷消耗費	1,000,000	315,343	△ 684,657	同窓会報、消耗品代
通信運搬費	1,000,000	55,050	△ 944,950	同窓会報他郵送料等
記念品費	60,000	39,477	△ 20,523	卒業記念品代
遠征費補助	600,000	380,000	△ 220,000	全国大会等激励金
協 賛 金	1,000,000	1,000,000	0	名簿・賛助金データ管理費
予 備 費	3,370,000	107,030	△ 3,262,970	
計	7,530,000	2,360,946	△ 5,169,054	

収入済額
7,140,473

支出済額
2,360,946

= 差引残高
4,779,527

[大分銀行 1,945,917
ゆうちょ銀行 2,833,610]

令和7年度 事業計画

令和7年

4月 9日	玖珠美山高等学校第11回入学式
5月 11日	令和7年度福岡支部総会
6月 23日	第1回役員会
7月 18日	全国大会(男女ホッケー部・なぎなた部・英語スピーチコンテスト)出場に係る激励金並びに海外研修派遣事業に係る支援金交付

7月 18日 第1回理事会

8月 30日	定期総会
12月	同窓会報第3号発行

令和8年 2月 27日 令和7年度同窓会入会式

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
会 費	530,000	530,000	0	会費5,000*106名
贊 助 金	1,200,000	1,500,000	△ 300,000	
繰 越 金	4,779,527	5,447,987	△ 668,460	前年度より
雑 収 入	50,473	52,013	△ 1,540	預金利息、吹奏楽部返金
計	6,560,000	7,530,000	△ 970,000	

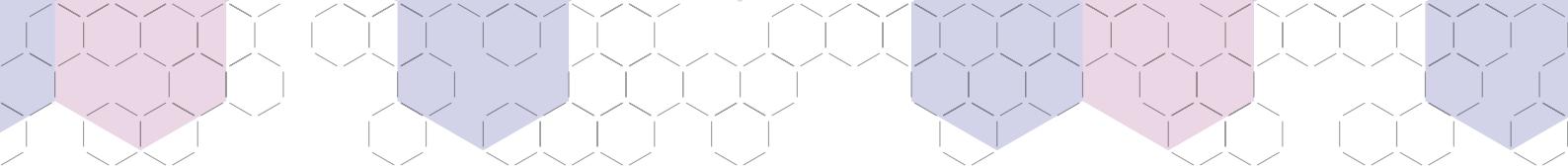
令和7年度

収支予算

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減額	備考
会 議 費	500,000	500,000	0	総会、理事会等経費
印刷消耗費	500,000	1,000,000	△ 500,000	同窓会報、消耗品代
通信運搬費	500,000	1,000,000	△ 500,000	郵送料等
記念品費	60,000	60,000	0	卒業記念品代
遠征費補助	500,000	600,000	△ 100,000	全国大会等激励金
海外留学支援費	100,000	0	100,000	海外留学支援金
協 賛 金	0	1,000,000	△ 1,000,000	10周年記念行事
委 託 費	120,000	0	120,000	名簿・賛助金データ管理費
予 備 費	4,280,000	3,370,000	910,000	
計	6,560,000	7,530,000	△ 970,000	



役員等一覧

☆印:新任

職名	氏名	卒年	回生	備考
顧問	坂本和昭	S35	12	玖珠農業
顧問	衛藤征士郎	S37	14	森
顧問	菅優一郎	S43	20	森
顧問	穴井裕康	S36	13	玖珠農業☆
会長	河野博文	S46	23	森
副会長	坪井公治	S42	19	玖珠農業☆
副会長	野上香代子	S54	31	玖珠農業
副会長	梶原久美子	S41	18	森
副会長	麻生良典	S47	24	森
副会長	梶谷裕治	H28	1	玖珠美山
副会長	衛藤史帆	R 5	8	玖珠美山☆
副会長	塙月光久			本校校長
会計監査	高橋裕二郎	S42	19	玖珠農業
会計監査	須藤百合子	S43	20	森
会計監査	時松真大	H28	1	玖珠美山
事務局長	川端隆裕	H 6	46	森(教諭)
事務局員	穴井駿祐			☆
会計	秋好寿紀	S55	32	森 ☆

職名	氏名	卒年	回生	備考
理事	森	帆足源三	S40	17
理事	玖珠	繁田博之	S50	27
理事	北山田	高倉預一	S52	29
理事	八幡	宿利忠明	S43	20
理事	東飯田	佐藤明郎	S54	31
理事	野上	野上香代子	S54	31
理事	飯田	鷺頭栄治	S45	22
理事	南山田	江藤一幸	S49	26
理事	日田・天ヶ瀬 三津江・大山	武原勇一郎	S41	18
理事	大分・由布	吉野賢一	S37	14
理事	東海	河原利己	S58	35
理事	東京	手島孝一	S52	29
理事	森北部	秋山泰士	S41	18
理事	森南部	浅田健治	S43	20
理事	玖珠	田中照政	S36	13
理事	北山田	石井龍文	S46	23
理事	東飯田	永樂拓	S32	9
理事	野上	岩尾茂樹	S47	24
理事	南山田	小田原克也	S48	25
理事	飯田	甲斐誠司	S47	24
理事	日田	工藤正徳	S37	14
理事	大分・別府	深草秀昭	S41	18
理事	福岡	渡辺美敏	S44	21
理事	関西	吉武小二郎	S45	22
理事	関東	山上剛	S44	21
理事	玖珠町役場	山本恵一郎	S59	36



令和7年度定期総会



全国大会出場に係る激励金並びに
海外研修派遣事業に係る支援金交付

賛助金についてのお願い

同窓会活動は皆様からの賛助金収入で行っています。賛助金は1口1,000円以上をお願いしております。口数は何口でも結構です。何かと厳しい環境下ではございますが、趣旨をご理解いただきまして別紙用紙で振り込みをよろしくお願い申し上げます。尚、賛助金をいただきました会員の皆様には引き続き会報を発送させていただきます。

振込先

- 郵便振込口座番号
01720-6-153803
- 振込先名義
大分県立玖珠美山高等学校同窓会
- 振込先住所
大分県玖珠郡玖珠町大字帆足160



地域と共に

收穫感謝祭



皆さま、いつも同窓会報をご覧いただきありがとうございます。

坪井公治委員長が退任し、今年度から編集委員長を務めることとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。坪井前委員長、大変有難うございました。

さて、今回で3号目の発行を迎える了。今号では、高校時代の思い出や職場、家庭などの近況報告など、それぞの場所で輝く同窓生の姿を紹介しました。

この会報が、世代を超えた交流のきっかけとなり、離れていても心はひとつにつながる、そんな思いを込めて編集しました。懐かしい思い出やメッセージが、皆さまの心に温かな灯りをともすことができれば幸いです。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

衛藤和敏

同窓会報編集委員会



	氏名	卒年	回生	備考
委員長	衛藤 和敏	S55	32	玖珠農業
委員	坪井 公治	S42	19	玖珠農業
委員	穴井千津子	S46	23	森
委員	岩尾 茂樹	S47	24	森
委員	金藤 泰成	H28	1	玖珠美山
委員	佐藤 大樹	H28	1	玖珠美山